

私みたいな人間に
ならないでください

雨野小夜美
(あめのこやみ)

私みたいな人間にならないでください

誰かが見てるよ

悪いことしちゃダメだよ

万引きしちゃダメだよ

たとえバレなくてもダメだよ

タバコ吸っちゃダメだよ

酒は10代で飲んじゃダメだよ

クスリなんて絶対ダメだよ

美しい体にピアスなんか空けないで

タトゥーなんか似合わないよ

食べたものは吐いちゃダメだよ

どんなに苦しくてもダメだよ

手首切っちゃダメだよ

あとが永久に残るだけだよ

自殺しちゃダメだよ

生き物をムダに殺しちゃダメだよ

いじめにあっちゃダメだよ

危なそうな人を見たら通行人Aになれ

孤独でもいいんだよ

生きてたらそれでいいんだよ

こんな詩を読んでくれてありがとう

病気になっちゃダメだよ

相談相手をさがしつづけて

ウソついちゃダメだよ

時間は守ろうよ

大人になってから後悔しちゃダメだよ

周りが敵やウソつきばかりなら

孤独になろうよ

鏡に向かって笑おうよ

見た目に気をつかおうよ

夢をあきらめちゃダメだよ

いつまでも人に頼ってちゃダメだよ

従ってちゃダメだよ
マザコンじゃダメだよ
大人になろうよ
人の話をちゃんとときこうよ
暴力なんかダメだよ

入退院くり返してちゃダメだよ
いちいち大げさに傷ついてちゃダメだよ
悪口言う人なんてどこにでもいるよ
一緒に言ったらダメだよ
選挙にちゃんと行こうよ
車の免許とろうよ
成人式に行こうよ
本当に信じられる人を作ろうよ
何度くじけてもいいよ
あいつなんか見返してやろうよ
美人かイケメンになろうよ
整形なんかしないで
自分のままで美しさを勝ち取れ

私みたいな人間にならないでください

すれ違う人にあいさつしろ
お金は本当に大事な物と人のために使え
叱ってくれた助けてくれたすべてに
「ありがとう」って言え
強くなれ

コールドスマッシュ

海の方へ
君が歩いて行く

海の方へ
君が歩いて行ってしまう

だんだん距離が
遠くなる

ぼつりと影しか
見えなくなる

コールドスマッシュ 手をとって
私を二階から引きずり降ろして
それは心
それは魂？

コールドスマッシュ 手をとって
君が歩いて行ってしまう

ずっと君に
抱かれてた

歩き始めて
手を離れた

ぼつりと影が
波と遊んでる

君がそのまま行ってしまう
気がした

コールドスマッシュ 手をとって
私を二階から引きずり降ろして

コールドスマッシュ
君が海の中へ行ってしまう

行かないで
私を置いて行かないで
やっとママって言葉を覚えたのに
コールドスマッシュ
君が海の中へ行ってしまう

それは心？
それは魂
二階から引きずり降ろして

コールドスマッシュ
君が行ってしまう

My Name Is Pen

光から手紙が届いたんだ
なんとなく破って開けてみた
「あなたは時々嘘をついてる」
そう書いてあった
眩しすぎて目を閉じた

自分自身を正直だと思っていたのに
もしかしてペンネームのことかな
それだけのはずないじゃん
世界中の人に嘘をついてるよ
言えない
どんなに正直な人でも
自分を正直だと思ってしまったら嘘つきだ
そんなつもりないのに

英語なんかわからないよ
数学って謎
50メートル走16秒だよ
そうやって嘘をつくんだ
でも正直に正直に言ったら
人は離れていくだろうな
何もかも正直ではいられないよ

My name is pen
英語ってそれくらいしかわからないけど
This is a penと混同しているなってみんなが笑う
また嘘をついてしまった

My name is Koyami
This is a pen
英語はまったく喋れないです
まずローマ字がわからないです
何を言っているかわからないです
youしか単語わからないです
ABCがわからないです

英検3級もってないです
嘘つきになりたくない
嘘をつかずにられない

光から手紙が届いたんだ
恐る恐る 開けてみた
ちょっと破れてしまったけど
「あなたは時々嘘をついてる
後悔しない嘘をつきなさい」
眩しすぎて目が痛いよ

「ありがとう」って言うよね
少しもありがたいと思ってないのに
「またね」って言うよね
もう二度と会えるなんて思ってないのに

My name is Koyami
This is a pen
また嘘をついている
いつしかこの嘘は本当になってしまう
後悔しない嘘をつきたいな
あなたも嘘つきだね
そんな自分を嫌いにならないで
自分に正直に嘘をつくあなたはすてきだから
My name is pen
I'm Koyami
I'm Koyami
I'm Koyami

大丈夫

終末時計が云々 どこかの偉いさんたちがやってる
クソ真面目に 3秒戻ったとか5秒進んだとかやってる
それって何か意味あるの？楽しいの？
6月なのに12月31の午後とかわけわかんない事を言ってる

それって楽しいの？面白いの？
いつまででもやってれば？
二酸化炭素が地球温暖化の原因だって
それすら本当はわかってないんでしょ？

大丈夫
君は大丈夫
私たちは大丈夫

テロは大丈夫
紛争は大丈夫
病気は大丈夫
生きていれば大丈夫

終末時計が云々 真面目でネガティブな偉いさんたちがやってる
終末時計なんて誰が考えたんだろう 考えすぎの人
何秒戻ろうが進もうが 偉いさんたちはまだ生きてるのに
延々と終末の話ばかり考えて 貴重な時間をつぶす

それって賢くてバカだと思ふ
別に私は関係ないから
何時何分何秒の計算は何でやってるの？
相対性理論？賢い人の考えることはわかんないね

大丈夫
君なら大丈夫
夢がなくても大丈夫

だってノストラダムスもミレニアムも2012も大丈夫だったんだから

それを乗り越えて生きのびて大人になったんだから
夢なんか大人でもない人いっぱいいるよ 私もないよ
年をとって振り返ってみて あれが夢だったと気づくんだろな

大丈夫

君は大丈夫

私たちは大丈夫

二人は大丈夫

家族は大丈夫

泣かなくても大丈夫

ねえちょっと聞いてくれる？
寝ようと思ってベッドに思い切り倒れこんだら
壁にめっちゃ激しく頭ぶつけたわ

そんなアホな理由で死にたくない
新聞に載ったらどうするんだ
お願いだから死因を書かないでよ

ねえちょっと聞いてくれる？
ゴミ箱に紙くず捨てて頭あげたら
ペーパータオルのプラスチックの箱に頭ぶつけたわ

そんなアホな理由で死にたくない
伝説の人になってしまうよ
お願いだから死因を公表しないでよ

ねえちょっと聞いてくれる？
ミ○ティア食いながら寝てたら
のどに詰まりかけたわ

そんなアホな理由で死にたくない
新聞に載ったらどうする 前代未聞だわ
せめてこ○にゃく畑にしてください

私は来年で27歳
中学生の頃
将来の計画に27歳で死ぬって書いてしまったわ
やべえ やべえ どうする 来年死んだらどうする
ミ○ティアのどに詰まらせて死んだ人番号になりたくない

せめて飴か こ○にゃく畑にしてください

パラノイアか考えすぎの人

睡眠薬が欲しい
外来でもらった薬飲みたい
飲む時間が大体決められているみたい
10時半に飲みたい
熱があるみたい
まだ寝たくない
まだ寝たくない
何一つ終わってない
明日起きるかなんてわからない
バカバカしい
神様が人間と同じ判断基準のわけない
人助けが地獄へ行って人殺しが天国へ行くかもしれない
パラノイアの人みたい
体が熱くて寒い
人間の判断基準でいいじゃない
それでいいじゃない
眠い
外来語の「愛」とか信じてない
「好き」というのを信じたい
そろそろ寝たい
頭の中がオーバードーズになってきたみたい
震えて仕方がない
クレイジーでInsane
まだ寝たくない
まだ寝たくない
何一つ終わってない
菓子とか食いたい
まだ一ページも始まってない
本当パラノイアの人みたい
明日起きるかなんてわからない
目が覚めるかなんてわからない
大地震が起こるかもしれない
ミサイルが降ってくるかもしれない
それは神様の判断基準で決めることじゃない？
時計見たら時間がヤバい

神様も信じてない

キリスト教嫌い

そんなヒマがあったら明日の服でも考えればいい

何を信じたらいい？

あなたの心配することじゃない

「好き」っていうのを信じたい

アホかバカみたい

被害妄想みたい

やっぱり人間の判断基準がいい

ねえ、熱があるみたい

人間の「好き」か「嫌い」でいいじゃない

午後11時みたい

何も始まってない

何も始まってない

しょっちゅう一華2

マヨネーズのついてない冷し中華は みその入ってないみそ汁と同じ
たぶん青色ダイオードと同じくらい すばらしい発明だろう

しょっちゅう

しょっちゅう

冷し中華

そんなもの邪道だとか カロリーが増えるとか
何も知らない食わず嫌いは言う 知らねえ

しょっちゅう一華

しょっちゅう一華

しょっちゅう一華

マヨネーズのついてない冷し中華は 卵を使ってない卵焼きと同じ
冷し中華ってのは麺じゃない 多分マヨネーズを楽しむものなんだ

しょっちゅう一華

しょっちゅう一華

しょっちゅう一華

何かもうベタベタになるまで食べたい
ぐちゃぐちゃになるまで食べたい
マヨネーズに顔面つつこんで食べたい

しょっちゅう一華

しょっちゅう一華

しょっちゅう一華

冷し中華にマヨネーズがついている限り 僕は叫び続けると思う
マヨネーズのついてない冷し中華は 米のないごはんと同じ

救い

祈るように手を組んで 救われる順番を待っている
馬鹿だな 神も何も信じていないくせに

あの山の頂上に「救い」と皆が呼ぶものがある
何なのか知らないまま並んでる

祈るように手を組んで 救われる順番を待っている
ここには食べ物も水も無いから

列は動かない 少しも前に進んでいかない
フードをかぶる かじかんだ手をこすり合わせる

それでも私は救われる いつかきっと救われる
そう 信じている
雲の上で雷が踊っている
触手を伸ばし 人を食おうとする

祈るように手を組んで 救われる順番を待っている
手が震えてる 恐怖に凍えている

私は何を待っているのだろう 誰かの作り話だろう
きっと踊らされているのだろう

祈るように手を組んで 救われる順番を待っている
声を声で覆い隠してしまう 人の列

もう忘れられてしまったのだろう 捨てられてしまったのだろう
灰色の雲が太陽を奪う

それでも私は救われる いつかきっと救われる
信じている
後ろの男に汚い靴を踏まれる
かかるとに血がにじむ

祈るように手を組んで 救われる順番を待っている

思考停止の列 動かないまま伸びてゆくだけ

私は何をやっているんだ 何を考えているんだ
山の上には何も無い どうせ食べ物も水も何も無い

それでも私は救われる
今日 私は救われる
自分を信じている
自分で考えろ 私には考える頭があるんだ

祈るように手を組んで 救われる順番を待っている人の列
山の上の知らない何かに 救ってもらおうとしてる

ひび割れて切れた唇をなめる 手に少し血がこぼれる
私は生きている 考えている 自分を救う方法を

自分で考えろ 救われるなんて無い 自分を救うしか無い
自分で考えろ 自分で決めろ 従ってばかりいないで

走り出す 空腹 列を捨てて なびくフードを手で押さえて
雲が切れていく 空を見上げる

私みたいな人間にならないでください

<http://p.booklog.jp/book/107907>

著者：雨野 小夜美

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/tinycolor/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/107907>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/107907>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ